

うれしの

議会だより

平成18年度決算認定 2-5P

議案質疑・議案修正 6-9P

一般質問に14名 12-21P

委員会レポート 22-23P

学校問題特別委員会設置 24P

第一回 嬉野市消防操法大会

平成18年度一般

本庁1階の受付窓口は、来客者が正面玄関より来庁された場合、職員は横向きになるような机の配置であり、市民からは、不評のもようです。

合併して一年半が経過してありますが、職員の対応に違和感を覚える方もいるようです。市民税務課だけでも職員を正面側に配置し、対面にて対応ができるよう望まれます。本庁1

来庁者に 気持ちのよい 対応を



▲何かよそよそしい？窓口

進学する子どもたちに光を与え続けている、奨学金貸与事業は、平成13年度からの返済未済額が、378万円となっております。増加傾向にあります。今の経済不況による影響とはいえ、事業運営の不安材料であります。今後、徴収努力はむろんのこと、保証人についても2名の連帯保証人を列記するなどの策が必要であります。子ども達の学習意欲を失わせないためにも、この事業は続けていかなければなりません。

子どもに 未来を

各種保育事業では、子育て支援センター事業・障害児保育推進事業・乳幼児健康支援一時預かり事業などが実施されていますが、補助金が目的に沿って運営されているのか、補助金交付後のチェックについても厳正に対処されることを望みます。

補助金の 生きた活用を

また、保育料の滞納額が平成18年度末で1107万円となっております。ちなみに、18年度だけでも507万円です。徴収体制の強化と各園側との連携をとり、一層の努力を望みます。



▲子どもたちにのびのびと育ってほしい

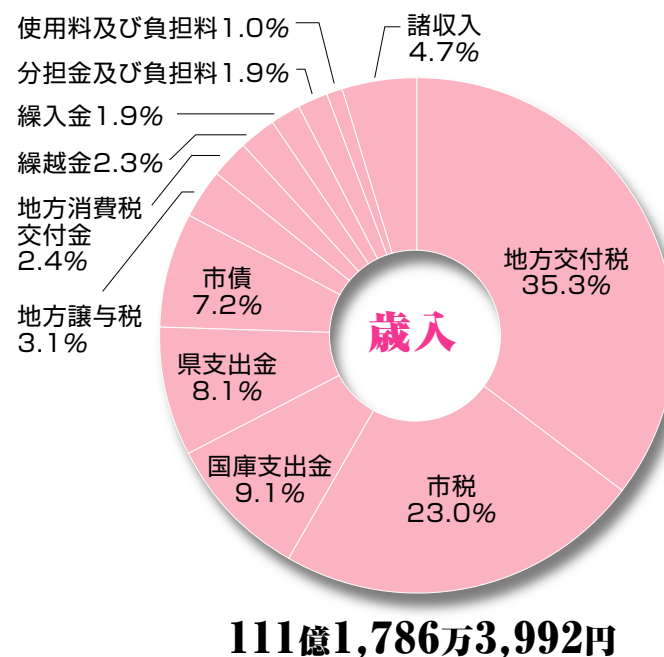
会計決算

認定

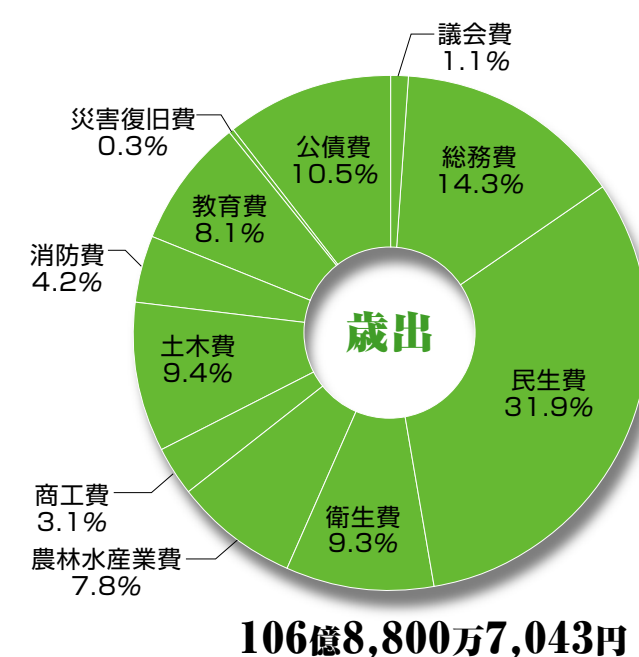
9月議会に提案された平成18年度嬉野市一般会計歳入歳出決算認定については、監査委員による審査終了後、「一般会計決算特別委員会」を設けて、執行部から提案された資料に基づいて、各担当課の説明及び意見聴取をおこない、詳細に審査を実施しました。

その結果、厳しい財政

状況のなかで、健全な運営が執行されていることを確認し、委員会の意見を付し認定をいたしました。



厳しさが増す 予算執行



滞納を 無くすのが先決

多くの部署での滞納が発生しており、予算執行するにあたっては厳しい運営を強いられております。

市税に限って言えば、本年度の市税全体をみると徴収率は80・05割で、県平均92割と比較するとかなり悪くなっています。

市税収入が歳入の23割を占めることを考えると未収額の増加は、少なからず財政運営に影響を及ぼしてくるものと思われます。



▲活躍してほしい市民税務課の徴収車

水道料金は今後の大きな課題

平成18年度 嬉野市水道会計決算額

区 分	金 額	単位千円	赤字となった水道会計 損益勘定の事業収益
資本的収入	58,769		7億6千173万6318円に対し
資本的支出	209,422		事業費用7億6千730万7830円
収益的収入	709,935		経常損失 557万1512円
収益的支出	795,429		



▲安全・安心な水道水を

水道事業
水道使用料の未収金は総額で3162万円に及び、滞納者には督促や給水停止などの対応をされています。
嬉野水道は数年前より

赤字が発生し、料金改定も大きな課題です。今後も水質検査を定期的にを行い、市民に安全で安心な水道水の提供をお願いします。

水道事業

農業集落排水事業

美野・上久間・馬場下3地区の接続率は82・4割で前年度からあまり伸びていません。各世帯の経済的な事情

公共下水道

平成18年度より供用が開始され、昨年度の接続件数は258件でした。今後とも接続率向上が求められるので、環境改善などをアピールして、加入意識を向上させるような施策を望みます。

第七・第八土地区画整理

事業の進捗は計画に沿っていますが、今後の課題は保留地の売却です。価格設定を購入済みの方とのバランスを取りながら立地条件ごとに行うこと、相続手続き費用の財源確保を国・県と協議していくことを望みます。



▲工事が進む谷所地区

はありますが、自然環境の保全を訴えながらの普及を望みます。また、施設管理費で133万円の赤字を出しており、使用料改定に向け検討が必要です。

平成18年度 特別会計決算

認定

(単位：千円)

	国 保	老 保	農業集落排水
歳 入	3,680,287	3,962,434	396,223
歳 出	3,655,973	3,956,338	393,758
差 引	24,314	6,096	2,465

	公共下水道	第七土地区画整理	第八土地区画整理
歳 入	652,009	391,987	228,807
歳 出	645,226	388,559	226,524
差 引	6,783	3,428	2,283

平成18年度嬉野市特別会計決算及び水道事業会計決算認定について
担当部課より提出された決算書などに基づき審査をおこない、昨今の厳しい経済事情と国からの交付金削減による地方財政悪化の中にもかかわらず、各特別会計決算は目的とする事業推進がおこなわれているものと認定しました。

老人保健

1人当たりの医療費は、対象者減に反比例して年々増加しています。今後は対象者も増えるので、レセプト点検の強化を国保連合会などと共におこない、被保険者の多受診や重複検査などを防ぐことも必要です。

徴収目標達成に全力投球を

国民健康保険

国民健康保険制度は、主に被保険者の税及び国からの負担金、補助金で運営されています。

しかし、税の徴収率は低迷し、これは経済不況による市民所得の減や失業による国保への加入増加などが要因です。税の未収額は3億円を超え、収入予定額の10割近くとなっています。また、債権放棄となる

不納欠損額は3587万円に及び、担当課は徴収に努力されているものの容易には改善されず、徴収には更なる努力が望まれます。また、来年度から後期高齢者医療制度が始まりますので、今後の補助金制度についても研究されるよう望みます。



▲日頃からの健康管理が重要

企業誘致は 実現できるか



▲候補地の一つ西山丘陵地

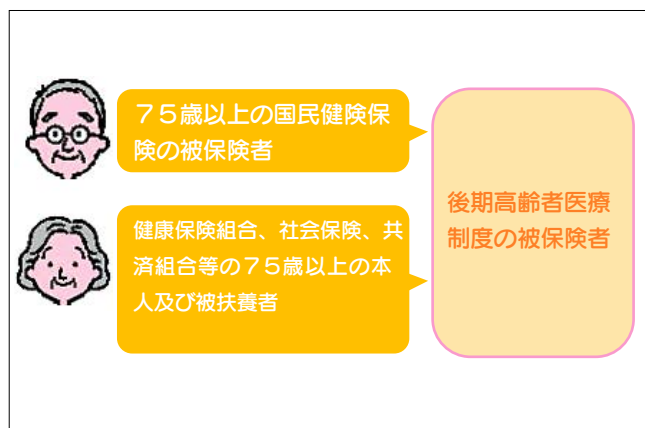
企業誘致については、これまでも議会をはじめ、いろいろの分野にわたって議論されてきました。企業誘致の対象は、あらゆる業種があり、進出してくる企業のための用地が必要です。市としても、市内に数ヶ所の工業団地としての適地を設定していますが、今回、塩田町西山地区7鈔と中通地区10鈔の2ヶ所を、企業誘致候補地開発前の社会環境等基本調査が行われます。両地区とも、武雄北方

インターに近く、現在稼働中の塩田久間工業団地とも隣接しており、環境、騒音、排水河川、アクセス道路などの確認や、森林法、農地法、埋蔵文化財保護法等の必要な許可や承認について、関係機関との協議を行い、現地踏査により位置図・現況平面図・開発図等の作成と、まとめの報告書を作成します。工業用水の問題もありますが、今回の調査結果に期待いたします。

平成20年4月から、後期高齢者医療制度がはじまりますが、この制度は、75歳以上のすべての方、寝たきりなど一定の障害のある65歳以上の方を対象とした、新たな医療制度です。また、この制度のしくみは、新しく設立された佐賀県後期高齢者医療広域連合が保険者となり、資格管理、財政運営など制度の運営の全般をおこない、窓口業務は今までどおり嬉野市がおこないます。対象者は、国保・健保・共済組合など、それまで入っていた医療保険を脱退して、後期高齢者医療制度に加入します（手続きの必要はありません）。医療費の自己負担額は、老人保健制度から変更はなく、かかった医療費の1割（現役並み所得者は

3割）を負担します。今回の補正予算は、佐賀県後期高齢者医療広域連合と杵藤地区広域電算センターを結ぶための共同システム開発費用として、一般会計より600万円、国民健康保険特別会計より249万円が、負担金として計上されま

した。75歳以上のみなさんが納める保険料は、国や自治体の負担金などとともに、後期高齢者制度を健全に運営するための大切な財源です。保険料は滞納しないで必ず納めましょう。



▲提供：佐賀県後期高齢者医療広域連合

もっと安心して 毎日のために

議案 質疑 紛糾した 9月定例議会

議案質疑の内容を解説

水道料金はどうか

今議会に提案された水道料金改定議案が撤回されました。その理由として、以前は水道事業の設備投資による企業債は、留保資金の有る無しに係わらず、企業債の繰上げ償還は認められていませんでした。しかし、8月に国、県による緊急施策として、企業債利息5割以上の借り入れ分の繰上げ償還が見込まれるようになり、水道事業体でも昭和58年度から平成3年度までに借り入れた約8億9千万円の企業債を3年間で繰上げ償還する予定です。なお、留保資金は、現在約14億円です。よって、毎年の支払利息が相当減額され料金算定の原価に繰り入れられるので、再度検討するために議案の撤回となりました。再度、水道事業財政計画を作成し、12月以降の議会において水道料金改正案が再提案される予定です。

農地の有効活用を応援します

農家の規模拡大に伴って、ほ場が分散しがちな現場の実態に対応して、担い手（認定農業者、集落営農組織等）に、農地をまとめた形で団地化して集積するための支援措置などを新設します。農用地利用改善団体などが、担い手に農地をまとめた形で団地化して集積するための計画（面的集積促進プラン）を定め、担い手への農地の面的集積を実現した場合、その実績に応じて、出し手・受け手双方のために利用できる面的集積促進費を農用地利用改善団体などに支払います。この事業を推進してい

くために、受益者に分担金を賦課する場合における賦課基準、その他分担金に關し必要な事項を定めるため、9月議会において条例が制定されました。交付の基準として、10町あたり1万5千円の2分の1を国が補助し、受益者が2分の1を負担します。また、より大規模な面的集積を実現した場合、より長期の権利を設定した場合、遊休農地を解消した場合などには、基本額に加えて加算額を支払い、担い手のコストダウンや、積極的な地域内の農地の有効活用を支援します。



▲大型コンバインによる特裁米の収穫（大牟田地区）

9月30日(日)、伝統的建造物群保存地区の修理家屋見学会が開催され、多数の参加があり、4軒の修理工事が、現場を見ながら説明がありました。「塩田津」伝建地区の整備が、昨年度に引き続き順調に進んでいます。

伝建地区には、公的に使用できる施設がなく、「塩田津」の情報発信のための拠点の整備が必要です。

今回、街なみ環境整備事業により、交流センターや案内所、集会施設の機能を持った建物が、検量所跡と、隣接する下村家を活用して計画されています。

検量所は、昭和20年代の建物で、熊本県天草から搬入される陶石の荷揚げ場跡の建物として、荷揚げ用クレーンの土台とともに、旧港の景観を色濃く伝える貴重な建物です。

また、隣接する下村家は、伝建地区内に残る唯一の「くど造」の民家形式をもつ草葺の町屋であり、「居蔵造」の重要文化財西岡家とは趣の違う啓蒙的効果が期待できます。

今回、嬉野市が所有することによって、本来の価値を取り戻す可能性が期待できます。



▲今甞る「塩田津」のまち並み

また、伝建地区の防災施設の整備が要望されていましたが、検量所跡付近に40トンの有蓋防火水槽が設置されます。

伝建地区の整備は、長い年月と、市民の理解、協力が不可欠です。

いよいよ始まる 「温泉資源有効利用」計画・構想



▲いつまでも絶えるな湯けむり

嬉野温泉の温泉資源の保護と温泉の有効活用を踏まえて、合併後の新市の主たるリーディング事業として「温泉の集中管理基本計画及び基本構想」が作成されます。

リーディング事業として、早急に協議を進めるための基礎となる調査が必要で、事業の内容としては、平成7年に実施された集中管理基本計画のシステムの矛盾点調査や、新たなシステム構築の必要性の検討をし、事業収支の

算出や、温泉単価の算出の検討を行います。

併せて、実際の源泉の現況調査を行い、集中管理として現実に利用できる源泉の詳細計画を立案します。

この費用として、850万円の委託料が計上されました。

温泉地としての「まち」を守るため、源泉の重要性を認識し、有効利用をめざして、集中管理システムが1日も早く実現できるよう期待します。

ちよつと待て 補正予算を修正する



▲楠風館（上）と市道の被り木

楠風館建物防水工事に285万円を計上されましたが、この件については多くの疑問が生じました。

この楠風館は完成後すぐに雨漏りが発生しており、施工業者による補修にても雨漏りを止める事ができず現在に至っております。

しかし、全額市の予算で雨漏り工事の修復は認めることができません。契約上は瑕疵担保期間と思われること、雨漏りは施工業者及び管理者である設計事務所の責任がある

発生すると思われることを考え、議員発議により、予算の執行が出来ないよう修正いたしました。

今後、担当課、設計事務所、施工業者の3者で協議をしていただき、納得のいく対応をお願いしたい。

また、嬉野町下吉田地区の市道永尾線で被り木伐採費としての70万円についても、民間人の所有する被り木を市の予算で伐採はできないと思われる。

所有者と協議をお願いしたいと思います。

塩田中学校の耐震診断については、昨年度からの懸案事項として、議会でも毎回のよう議論されてきました。

県建築物耐震性能判定委員会による最終判定結果が、8月18日に出され、「耐震性能が判定指標値を著しく下回っている状況にあり、耐震化のための適切な対策を早急に講じる必要がある」と判断されました。

この結果、9月より3棟ある校舎のうち、普通教室棟を閉鎖して、管理棟、特別教室棟及び中央公民館を使用することになりました。

また、緊急対策として、仮設校舎をグラウンド敷地内に建設し、来年の夏休みを利用して、耐震補強が予定されています。

議会でも、学校問題特別委員会を設置し、今後



▲ここに3棟の仮設校舎

出される市内の各学校の耐震診断結果を踏まえて、総合的に学校問題について、慎重に審議をおこないます。

塩田中学校の生徒、職員のみなさんには、環境の変化に負けることなく、本来の目的達成に向かってがんばってください。

また、市民の皆様のご理解・ご協力をお願いします。

がんばれ 塩田中学生

意見書 地方の声を国へ!!

悪質商法被害をなくすための 割賦販売法改正を求める意見書 (要旨)

割賦（ローン）販売は、代金後払いで商品購入できるという利便性がありますが、最近に訪問販売などによる強引・悪質な販売方法と結びつき、高額な被害をもたらし、大きな社会問題となっています。よって国及び政府に対し法改正に当たっては、次の事項を実現するよう強く要請します。

1 実効的な過剰与信防止規定
2 不適正与信防止義務と既払金変換責任
3 契約書型クレジットへの開業規制

佐賀県嬉野市議会 議長 山口 要

衆議院議長 河野洋平様
参議院議長 江田五月様
内閣総理大臣 福田康夫様
経済産業大臣 甘利明様

採択されました

請願

悪質商法被害をなくすための 割賦販売法改正を

佐賀県労働者福祉協議会

会長

黒木安秋

陳情

市民の声を議会へ

はり・きゆう施術費 支払いについて

●陳情者

嬉野市鍼灸マッサージ師会

会長

藤田 達美

平成20年度から始まる後期高齢者医療制度への移行に伴い、今まで国保施術費払いを利用していた75歳以上の方々が、利用が出来なくなるのではないかと大変危惧されています。

事務所の 改修工事について

●陳情者

嬉野町商工会

会長

木原八郎

6月定例議会に嬉野町商工会施設の雨漏り、アスベスト対策工事などの改善要望がだされ、委員会では継続審査としておりました。

います。
これからの同じ条件で施術助成が受けられるようご配慮お願い申し上げます。

審査結果

(採決)

高齢化が進む中、健康問題は重要な課題であり、新制度移行後も同様な条件で制度を維持すべきであると考えます。

審査結果

(採決)

他の市町の事例を調査した結果、防水工事は認められないものの、アスベストの除去は必要と考えますので、市が負担できる程度の補助をして、アスベスト除去を実施されるよう担当課に要望しました。

意見書

世界に対して従軍慰安婦の 事実を主張することを求める意見書 (要旨)

従軍慰安婦問題の事実を主張せよ

2007年7月30日、米国連邦議会下院本会議で、いわゆる「従軍慰安婦決議案」が採択された。しかし、その内容には疑念を抱かざるを得ない。今日までの調査では、当時の日本政府ならびに旧日本軍によって、組織的に強制された慰安婦が存在したという具体的な証拠は発見されていないし、強制的に慰安婦を募集したという文書は存在しないとされている。日本政府は、「従軍慰安婦決議」や「性的奴隷報道」に対し、今日まで調査研究されてきた事実関係や正確な説明をおこなっていない。

ただ、謝罪を繰り返す現在の外交政策は、国際社会に日本国民は残酷な非人道的国民との印象を与えざるを得ない。

このことは、先人の名誉を傷つけ、現在ならびに将来の日本国民の誇りを失いかねない重大な問題である。

よって、嬉野市議会は日本政府に対し、慰安婦問題に対する事実を世界に対し主張することを強く要求する。

佐賀県嬉野市議会

議長

山口 要

内閣総理大臣 福田 康夫様
外務大臣 高村 正彦様

賛 否 表																
	番 号		1													
	結 果	表 決 数	小田 寛之	大島 恒典	梶原 睦也	秋月留美子	園田 浩之	副島 孝裕	田中 政司	川原 菊男	織田 典子	芦塚 勝彦	神近 重喜	太田 榮一	山口 道夫	野副 敏之
64号・65号議案撤回について (注1)	承認	10:7	●	○	○	○	○	●	欠	●	●	○	○	○	欠	●
嬉野市総合計画基本構想	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
嬉野市人権尊重に関する条例	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
嬉野市国民健康保険条例の一部を改正する条例	可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●
19年度一般会計補正予算(第2号)の修正案	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
19年度一般会計補正予算(第2号)	修正可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○
世界に対して従軍慰安婦問題の事実を主張することを求める意見書	可決	18:1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	●
悪徳商法被害をなくすための割賦販売法改正を求める意見書	可決	19:0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○

(注1) 64号・65号議案とは…
嬉野市水道事業給水及び飲料水供給施設給水条例の一部を改正する条例で、現在の嬉野町の水道料を9%値上げすることでありました。会期中、21日に執行部から議会に議案の撤回が申し出され、その日に承認されました。

○は賛成 ●は反対 欠は欠席

一般質問に残暑いとわず14人が市政を問う

お茶の間で議会を

【CATV放送時間】
質問当日の午後7時～
質問日時については、議会
事務局におたずねください。
(0954-66-9127)

行政嘱託員の見直しは

副島 敏之 議員

答 慎重に協議し御理解を



副島 事務事業の見直しの中で、改革推進プログラムの第一に、嘱託員を半分程度に削減し、最終的には廃止する。「業務を区長に依頼することを検討」とあるが、市長の今後に対する考え方は。

市長 現在、行政嘱託員

市政の運営は「和」を基本とせよ

平野 昭義 議員

答 「和」をもとに政策を推し進める



平野 六月議会で組織を見直す改革を提案されたが、拙速すぎると否決された。今後の運営を問う。
市長 基本路線は合併協議を踏襲し、短・中・長期路線を推進していく。
平野 融和と歓声が聞こえる市政の具体策はどう

すすめていくのか。
「和」は行政運営の基本である。
考え方を問う。

市長 私の好きな言葉であり、それをもとに嬉野・塩田町の交流に努力していく。

また、地域コミュニティ事業の推進に努め、地域の活性化に努力にして政策を考え進めて行きたい。

水道審議会答申の情報非公開について

平野 水道審議会の答申後5カ月間公開されなかったが、非開示とされた理由は何故か。

市長 嬉野地区についての料金改定で、ご理解いただいたための内部的準備ができていなかったため、公開しなかった。

平野 水道はライフラインであり、市民に公開すべきである。
水道課長 多大な事務事業に影響を与えようと思いき、公開しなかった。公開は当然であり今後注意していく。

の業務は繁忙を極めておられ、見直しをしていかない、今後課題が生じる可能性がある。

当面、大字区や大区程度に統合した中で、代表世話人程度で組織づくりが進んでいけばと考えている。

その後、時間をかけて小学校区程度による地域コミュニティ組織を考えている。

副島 この件については、何十年という歴史と経過があり、市民の方々のご理解が不可欠であるが。

市長 議員提案のように、十分な協議が必要と考えて慎重に協議し、ご理解をいただきたい。

企業誘致について

副島 8月29日の新聞報道によると、地域間格差の是正を目指している企業立地促進法が6月に施行され、指定地域を対象に、年間300億円の地方交付税を交付することを明らかにし、県内では武雄市・伊万里市が、すでに指定を受けている。嬉野市において、現在

社会体育館の建設は町の中心に

平野 建設計画には市民の多くの意見がある。本庁周辺には、中学校・工業高校など利便性が高い、災害時の避難場所、伝建地区との相乗効果が期待でき、買収や造成の費用がいらぬ。

市長 現在、審議会で検討中で、私からは発言できないが、費用は効率的に、場所は施設が利用し易いところを検討されていると考える。

平野 耐震診断の結果を受け、今後の方針は。

市長 プレハブの仮設校舎が完成しだい移動していただくが、今後については児童数の減少もあり、長期的に慎重に検討すべき課題である。

の取組状況・成果はどうなっているのか。

市長 県と協議をし推進しており、現地の確認や情報収集もおこなっているし、今回企業誘致に関する予算150万円を計上しており、9月からは職員を県の企業誘致担当部へ派遣した。

その成果について期待をしている。

副島 7月24日産業建設委員会で、企業誘致等について伊万里市を訪問し、内容は次の通りである。県の関連部署に1名出

向させ、市には企業推進課を3人体制で情報の収集をして、企業訪問により情報を得たら、即市長が動くトップセールスによって現在まで約70社にも及ぶ企業を誘致されている。

中でも1社だけで年間10億円納税されている企業があると聞きびっくりした。

市長が先頭になり努力をしていると聞いたが、これからの対策強化を強く望むものである。



▲いろんな企業に来てほしい



▲念願の社会体育館はどこに…

施設利用の受付は窓口で

神近 勝彦 議員

答 一括して管理する方法を目指している



神近 施設を利用するためには、各施設を管理している各課で受付をおこなっているが、塩田地区

の施設を嬉野地区の方が借りる場合や逆の場合は、塩田の方は嬉野支所へ、嬉野の方は塩田本庁へと大変不便である。

本庁・支所の窓口で全ての施設の受付ができるようにすべきだ。

市長 一括して申し込みを受け、貸し出し、収納

などの管理する方法を目指している。また、ホームページなどを活用し、予約状況の把握や申請用紙のダウンロードについて検討しているが、複数予約の順位の確定などが課題としてある。

神近 相互利用できてこそ合併のメリットがある。受付の重複確認は、窓口であればできるはずだ。また、施設は管理から維持まで一元化できるように、管財課が必要だ。

市長 承知しているが、全体的な組織の課題があるときに議会にお願いしたが、時期尚早ということであった。

神近 機構改革の難しさは理解するが、管財課の設立を早急におこなうべきだ。

市長 承知しているが、全体的な組織の課題があるときに議会にお願いしたが、時期尚早ということであった。

神近 機構改革の難しさは理解するが、管財課の設立を早急におこなうべきだ。

今後のほり・灸補助は
神近 嬉野市では国民健

康保険制度で、利用者補助金の制度がある。来年度から後期高齢者医療制度が実施されるが、この制度のなかでの取り組みはどうなる。

市長 県内各市町での取り組み方に違いがあり、事務局としては採用しないという方向であった。

しかし、嬉野市は採用について強く発言してきた。今後、理事会でも再度検討する方向になったので、引き続き発言していきたい。

神近 現在の処理場建設について、他地域からの持ち込みについては、地元から同意が得られないということだが。

市長 同意が得られなかった場合は、他地区の処理はできない。

神近 仮に予定地を変更することで地元の同意を得られるのであれば変更するのか。

市長 現在了解いただいている範囲で進めたい。

農集排水処理場は

就学前医療費助成制度は 現物給付にすべき

梶原 睦也 議員

答 もうしばらく時間が必要



では、医療費の負担は本来に大きなものだ。入院ともなればかなりの額の負担がともない、病院に連れて行きたくてもお金がないため連れて行けない家庭もある。経済的負担を少しでも抑えるためにも現物給付とすべきだと考えるが。

市長 償還払いと現物給付の支払いについては、費用の問題ではなく、医療機関の方々の事務的な負担がなくなっていけばご了解いただけると考えている。

そういう点ではしばらく時間をいただいて検討すれば、解決策は出ると思う。

市内の病院については説明すれば御理解いただけると思うが、問題は市外の病院にかかれたときが、嬉野分の医療費だけ現物給付でということ

は難しいのではないかと。当然、嬉野市の方は市内の病院に行くことが一番多いわけだ。

もちろん周辺市町、県内全域で取り組むのが一

梶原 3歳未満児の医療費助成制度は300円の負担だけであとは現物給付となっている。しかし、就学前医療費助成制度では医療費を一旦窓口で支払い、申請後に返金される償還払いとなっている。特に子育て世代にとつ

番ベストではあるが、まず、市内の病院と連携して市内からはじめてみてはいかがか。

市長 理論的には可能だが市内の病院であっても市外の子供さんもこられるわけで事務的負担があると思う。

いずれにしても医師会との関係もあるが意向はお尋ねできると考える。

読書活動の推進と学校図書館図書整備について
梶原 市内の読書活動はどのように取り組まれているか。

教育長 本年度の嬉野市の教育方針の中でも重点事項の一つとして、読書活動の充実を挙げている。市内全小・中学校で読書活動の推進に取り組んでいる。

また、学校図書の整備も充実させていきたい。

予定地に建設したい。

▲使用が中止された普通教室棟(塩田中学校)



西村 「新村・三ヶ崎」地区からの要望では予定地を変更してほしい。

他地区からの汚泥搬入は認めない。三ヶ崎川に処理水を放流しない事。

当初の計画では地区民の合意は得られないようだが対応は。

まち整備部長 地区民の合意が得られなければ、他地区からの汚泥搬入はできないと考えている。

また、悪臭発生箇所では佐賀市の集落排水の処理液を利用して臭気を抑える試験をされているが成果を期待したい。

集落排水事業について

西村 処理場予定地について執行部の考えは。

市長 当初の計画どおり

校舎の耐震対策は

西村 信夫 議員

答 仮設校舎を建設する



西村 塩田中の普通教室棟が大地震時に倒壊の危険性が高いとの耐震診断結果を受けて、校舎の耐震緊急対策を示されたい。

市長 仮設校舎を設置する計画で12月以降に完成予定である。

それまで校内の特別教

室棟に2年生、3年生、中央公民館の2階に1年生が学習している。

仮設校舎は運動場に設置し、完成後には全学年の教室が確保できる。

プレハブ建設後は次年度補助制度に乗せ緊急に補強工事をする。

西村 耐震対策の予算措置と財政計画を具体的に。

市長 耐震補強は4億から5億を見込んでいる。

財政計画は補強工事に対する国庫補助及び合併特例債を活用したい。

西村 教育環境の変化に対する適切な対応は。

教育長 生徒の安全が第一と考え、不安と動揺を与えないよう環境づくりに最善を尽くす。

悪臭公害対策について

西村 悪臭は、感覚公害と呼ばれ人体に感覚的、心理的な悪影響を与えることから、悪臭対策は行政の責務である。特に苦情の多い、「野外焼却や畜産業」における悪臭公害の解決策を明確にされたい。

市長 当該の地区では非



▲児童に十分な医療を

行政区の陳情、要望を解決せよ

山田 伊佐男 議員

答 選択して努力する

市民の要望を解決すべく予算化されたい。

市長 全体的な予算が厳しい状況である。選択しながら努力したい。

山田 三坂、式浪、五代、大草野南、不動山地区など、私が把握しているだけでも9箇所未解決だ。合併特例債を活用して解決できないか。

市長 解決のスピードが遅くなっている。財政的に合併特例債の適用も考慮し、検討したい。

山田 陳情、要望に対する担当課の検討結果を、文書で返答できないか。

市長 統一したパターンを作り、回答できるように研究してみたい。

合併協議会の確認事項について

山田 6月議会での組織機構見直しの提案は、合併協議会の確認事項に抵触しないか。

部長制の見直しや兼務などで対処し、さまざまな意見を拝聴して、組織は見直すべきだ。「きらりと涙が出る」まちづくりにならないか危惧する。

行政嘱託員を削減すべきだ

山口 榮一 議員

答 合理的、機能的に見直す必要がある

現在塩田54名、嬉野34名が市政に協力をいただいている。

私も定数削減はすべきだと思う。

市の基金残高も19年5月31日現在一般財源基金と特定目的基金合わせても34億7千9百万円と少なくなっており、このままいけば5年以内に市の財政も非常に厳しくなると思われるので、合併効果を出すためにも早めの対策をしなければと思うがどうするのか。

市長 合併以前の組織を踏襲しているので合理的、



▲むかしは川遊びができたのに…（木場川）

17年度の加入率で見した場合、塩田100割、嬉野82・8割である。未加入者に対する地域での仕事もされているので、加入率割りを均等割りに見直すべきだ。

市長 私も加入率だけで地域のことは解決できるとは思っていない。加入されなくても配り

山口 平成18年、22年までの5年間で財政効果を総額25億円削減案が公表された。

その中に嘱託員を半分以上まで削減し、最終的に廃止して、区長に業務委託を検討するよう求められている。

その他の質問

- ・合併特例債の、活用について
- ・通学区域の問題について
- ・生活保護に対する問題について
- ・子育て支援について
- ・成年後見人について



▲離合待ちの多い市道(式浪区)

河川の葦や雑木除去はどうする

山口 今河川のあちこち

をおこない、全体の職員数は変化せずに対応していきたい。

副島 地域コミュニティの運営にあたって、市民の新たな負担が発生しないか。

市長 運営にあたっては、市役所からの委託金と負担金が主になっていく。

事業展開が活性化していけば自主自立の好ましい姿として地域の負担も出てくると思うが、一世帯年間ワンコイン、いわゆる500円程度になると考えている。

副島 地域コミュニティの推進に合わせて行政区の統廃合や、集中改革プランの中にある行政嘱託員制度の見直しを考えているか。

で葦や雑木が繁っており、中には大雨でも降れば被害が出るのではないかと、いうところもあるがどう対応されるのか。

市長 以前は知事との意見交換会の席上でも直接申し入れをした。

県管理の河川については、現地を確認していた

だき、河川保全事業として除去をしていただいて、市で管理している地区について問題のある箇所は、確認をして対策をとっていきたい。

その他の質問

・嬉野町の火災について

市長 地域コミュニティの組織、推進をするために行政嘱託員会のあり方を見直すことはない。

行政嘱託員の仕事が多く、非常に負担があるの

で充分精査をして、区から選ばれた区長さんが、もつと地域での活性化のために時間がとれるように、行政側が努力をしなければならない。

「地域コミュニティづくり」推進への決意は

副島 孝裕 議員

答 時間をかけて、市民の理解と協力を求めている

動」と名づけて、合併後の重点施策として展開したい。

行政嘱託員会での説明、協議を終了し各地域での説明会を開始した。

11月までに小学校単位での説明会を開催し、その後追加の要望があれば、地区にお伺いして説明会を開催したい。

副島 行政側の対応として「全ての市職員をいずれかの地域コミュニティの担当とする」とあるが、具体的方策は。

また「コミュニティセンターに市の総合窓口を設置し、職員を配置する」とあるが、市の目指す行政改革に逆行することにならないか。

市長 全ての職員をコミュニティごとに居住地区を参照に推進のためのサポート役として、また、市職員として培った知識で地域コミュニティ推進へ向けて、地域住民として努力させたい。

市役所職員の派遣の前提としては、業務の精査



▲59回目を迎えた吉田地区体育大会

消防団操法大会の 日程について

太田 重喜 議員

答 重複をできる限り避けたい



た若者をどの様に評価されているか。

教育長 嬉野の将来を託せる人材になっていくと、会った時に思っている。

太田 消防団は地域の中核的存在であり、地域振興の中核でもある。

今後、十分考慮され、取り組みをされたい。

太田 消防団行事と地域行事の重複を避けよ。

市長 消防団の計画は、自主的にされる。早めの決定と広報で重複をできる限り避けてと期待する。

太田 地域の行事などを総務課、地域振興課は把握しているか。

支所総務課長 地区行事に消防団員が中核的であることは理解している。各自治区の行事は把握していない。

太田 消防団は厳しい現実の中で活動している。そこで部長などを勤め

緊急時の連絡広報は
市長 6月の市街地火災では、サイレンが聞こえなかった所が多かったと聞いた。

消防署のサイレン・拡声機の利用、総合支所サイレン吹鳴の工夫、7ヶ所の手動サイレンの点検・調査を検討中である。

また、携帯電話不通地区解消に努力していく。



▲猛暑の中で、連夜の訓練の成果を見せた

防災無線の再整備を

市長 県からも要望された、デジタル防災無線の整備には、7億円位かかるが、整備計画をすすめる。

自然水利の活用は

市長 いろいろ課題があり、消防署、消防団と共に研究する。

太田 五町田の火災では、4台の消防ポンプに異常があった。用水路に設置の集水ビットの増設を是非すすめよ。

久間地区にあるはずの3基の調査は

本庁総務課長 現地の確認をしていない。

その他の質問

・農林業振興について

① 情報の収集と連絡、連携活用(内部で外部に)

② 今年の茶価、米価について

③ 基幹的就農者の年齢予測

④ 売れるものづくり、パン用小麦への取り組み

⑤ 農林道、作業林道の整備計画

⑥ 遊休市有地の利活用策は

古湯温泉の周辺整備を急げ

田中 政司 議員

答 古湯温泉を中心に回遊ルートの実現を目指す



田中 古湯温泉利用者の駐車場の整備や中川通り・新湯通りの整備計画は。

市長 駐車場は必要であると考え、現在候補地を挙げ検討している。

町並みを散策し、商店街の振興に寄与することを考慮しながら、駐車場の計

画を行っている。

中川通りについては、観光周辺散策道路として、水路を備えた道路整備を財政状況を見ながら計画したい。

新湯通りについては、古湯温泉整備後、川原の整備をおこないたい、そのときに同時にこなうことができると考えている。

田中 古湯温泉が整備された場合、周辺の景観が大事になってくる。

周辺地域の景観条例の策定が急務と考えるが。

市長 景観条例の計画などについては予定をしている。

私権を制限することになるので、他の自治体でも相当時間がかかっている。協力をお願いしていきたいと考えている。

火災・災害用のサイレンを自動で

田中 現在、嬉野地区に7箇所のサイレンが設置されているが、火災発生の場合、団員が格納庫などへ出動してから、手動で鳴らしている。

火災発生時、全団出動

1〜3学年の250名ほどの児童が通っている。

必要な設備は生活室・プレイルーム・静養室・事務スペース・トイレ・電話・かばん置き場・台所設備・手洗い場・足洗い場・冷暖房などである。

このなかでクリアしているのは。

子ども課長 校内の施設では足洗い場・手洗い場・トイレ・かばん置き場などで、冷暖房はなく設備的には不十分だと思つた。

秋月 県内に166箇所ある児童クラブの半数以上はクーラーがある。

今夏のような暑さが今後続けば冷暖房設備が必要である。

また避難訓練など、緊急マニュアルや通報設備、さらに不審者情報、指導員の携帯に入るようにしてほしい。

子ども課長 今年度より委託している嬉野学童保育連合会に訓練などの要領を渡している。

秋月 全児童対策事業の放課後子ども教室の取り組みは。

教育次長 平成16年度か



▲早く活用してほしい温泉公園

の場合などは消防本部が直接、自動で鳴らすことはできないのか。

支所総務課長 塩田地区は消防本部が直接鳴らしている。嬉野地区においても検討している。

保育料の滞納をなくせ

田中 嬉野市における保育料の滞納額は。

福祉部長 18年度現年度分507万7620円。平成8年から滞納が発生しており、収入未済額は11

07万9000円である。
田中 他の自治体では、差し押さえなども行われている。

今後の徴収については。
市長 まず滞納を起こさせないことが一番大事だと考えている。

今後は、滞納処分や納付勧奨なども現場で積極的に行っていたとき、徴収率を上げていきたいと考えている。

めながら、施策として反映させていきたい。

三湯ものがたりについて
秋月 別府八湯外湯巡りや長崎さるく博など、地域観光を目指した企画が成功している。

武雄市と計画されている三湯ものがたりとは。

市長 ルートを作ったの共同利用で、嬉野と武雄、古湯の3つの温泉街で共通的にできないかを協議し、武雄がまだ検討中で、結論を待っている状態である。



▲子どもたちに楽しく安全な放課後を

嬉野小学校校舎真上の高圧線の移設の考えはまだ変わらないか

園田 浩之 議員

答 国の指針が出るまでその考えはない



園田 超低周波の電磁波が及ぼす環境では、子供の白血病の発症率が2倍以上と国立環境研究所は2002年に公表した。

そこで嬉野小学校の真上を通っている高圧送電線を、小さな子供たちの安全と、白血病から守るために塔を移転する考えに変化がないか市長に1年前同様再度尋ねる。

市長 今後、経済産業省で対応が検討され、文部科学省、国交省などの見解も出されるものと思う。公的に解決を求められれば、国、県、事業者と協議し、対策をおこなう。

園田 それでは、遅くなく。6月18日、佐賀新聞の1面と3面に、世界保健機構、WHOは指針に電磁波予防策を勧告し、高圧送電線が出す超低周波電磁波の人体影響について小児白血病との関連が否定できないと結論を出した。

市長 WHOが公的に指針を出したので経済産業省が対応を始め、何らかの指針が出てくると考えている。

園田 国の指針が出るまでは動かないと解釈した。教育長の見解は。



▲高圧線の下で遊ぶ児童

教育次長 教育委員会としては、経済産業省、原子力安全保安院が電力設備電磁界対策ワーキンググループから秋に出される報告書の公表や関係省庁の通知などの動向を注視して考えたい。

子供たちが安全・安心して授業が受けられるような環境づくりを確保する必要がある。

その他の質問

・針・灸の治療費補助
・火災報知機設置の補助

園田 水俣病やイタイイタイ病など政府が認めたものだけが公害ではなく、行政や公的権力を握った人の横暴や無作為によって何の罪もない多くの人が苦しむことをも公害であり、この件も私に言わせれば立派な公害の範疇だと思う。

みんなが利用できる公共交通網の整備を

川原 等 議員

答 芦刈方式はいいと思う



川原 市内の公共交通網はこうなっているのか。

市長 生活交通路線として運行している祐徳バスは、鹿島から武雄への祐徳線、鹿島から嬉野への嬉野線、鹿島から吉田經由の吉田線がある。更に、廃止代替バス路線として

上久間線、下吉田線、春日線、大野原線、三間坂線の5路線。

川原 この路線バスを利用できるのはバス停や路線に近い人たちではないか。塩田町内でいえば、南志田・光武・中久間・畦川内・美野全域・鍋野・下童・殿木庭地区などはほとんど利用できない。

公共のサービスは公平に誰でも受けられなければならない。

白石町ではコミュニティタクシー「いこカー」を、小城市の芦刈町では「あしかり便利カー」を運行している。

芦刈方式は、電話にて予約し自宅から町内の目的地「病院、庁舎など」まで1回200円、帰りも電話して200円で自宅まで送ってもらえる。ドアからドアへ、玄関から玄関までの芦刈方式を嬉野市で取り入れていただきたい。

企画課長 嬉野市も廃止代替バスの運行を見直し、地域公共交通会議の組織を立ち上げて全面的に見直し、実質21年4月頃から運行できたらと考えている。

市長 芦刈方式は非常にいいと思う。必要な所に必要な乗り物が届けられるし無駄がない。

塩田中学校の耐震改修について

川原 塩田中学校の耐震診断結果では、普通教室棟が2学期より使用できないと判断されるほど強度が不足していた。

更に他の3棟についても普通教室棟程度ではな



▲今日も「いこカー」は走っている(白石町)

公用車の購入時の選択方法について

小田 車種自体を変えれば安く買える。

使用目的に合った車種・装備を選べば購入時だけでも節約ができると思うが。

市長 今後ともできるだけ低廉で安全な車を購入するようにしていきたい。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

小田 荷物の積みっぱなしをしないとか、エンジンオイルやエアクリナーの状態などでも燃費が違ってくる。

車種の選択だけではなく、節減や環境に配慮した使用方法ができないか。

市長 私たちもそういう態度で取り組む。

燃料費の節減を図るとあるが、どのように節減するのか。

市長 燃料の消費が少ない軽自動車をするだけで多く導入する。

去る8月9日、佐賀県小城市を調査した。
小城市は、小城町・三日月町・牛津町・芦刈町の旧小城郡4町が合併し分庁方式で行政運営がなされていた。

《委員会の意見》
分庁の内容は、地理的中心的牛津庁舎に総務部・会計課・選挙管理委員会・監査委員会・議会を、小城庁舎に市民部・産業建設部の

うち観光課・教育委員会・水道課を、三日月庁舎に福祉部を、芦刈庁舎に観光課を除く産業振興部・農業委員会を設置し、それぞれの庁舎に総合窓口を置き住民の相談に対応されていた。
急を要する事業や専門的な事業については、それぞれの庁舎の担当課へ住民が足を運んでもらうこととし、利便性を高めるため各庁舎間をマイクロバスの



▲分庁方式の機能性は？（小城市役所牛津庁舎）

佐賀県
小城市へ

住民の納得する
行政機構の改善を

総務企画
委員会

運行がなされていた。
嬉野市においても、行財政の健全化を推進する上で行政機構の改善を始め、多くの見直しが必要となってくるが、特に住民サービスの低下に繋がる見直しについては、工夫をこらし住民が納得できる改善を図りたい。

嬉野市では、小中学校で試験的に順次2学期制を導入されている。
委員会では、週5日制や2学期制などについて、学校長と意見交換をおこなった。

委員会の意見

2学期制について、ほとんどの学校長は、中学校での2学期制は適当であるとの意見であった。
理由として、子ども達を評価するためには長い期間が必要とのことであった。
しかし、小学校については、長期休暇後の気持ちの切り替えができていない子ども達が見受けられるとのことであった。

また、県立中学校の開校にともない、教育内容において格差が生じないよう、また各学校が自由な発想で内容が組めるように、今後県や市の教育委員会に働きかける必要がある。



▲今後どうなる2学期制

市内

より良い学校教育を
目指すために

文教厚生委員会

産業建設委員会

地場産業を
生かす努力を

有田町・伊万里市へ

有田町の有田内山地区と伊万里市の大川内山を視察した。
有田内山地区は、平成3年保存地区の選定を受け、伝統的建造物148軒の内84軒が修復を終えている。しかし、今の時期に発生している問題は、指定の解除を求めたり、修復後の売却希望世帯が出てきたり、空き家が増えてきたりしている。
塩田津においても、今後考えられることであり、先を見据えた対応が求め

られる。また、塩田地区は、職人の街といわれるように多くの職人を育て上げている。修復作業には、各職の技能を受け継ぐ後継者の鍛練の場としても生かしてもらいたい。
伊万里市では、大川内山藩窯公園整備事業を契機として、鍋島藩の御用窯としての全国ブランドの位置づけ、観光の目玉、観光のメッカとしての集客に力を入れてきた。
歴代市長が4代に渡り継続して整備をされてお



▲伝建地区でもある有田内山

鹿児島県
蒲生町へ

議会だよりを
充実させるために

議会広報編集
特別委員会



▲より良い広報のために(蒲生町議会)

議会広報特別委員会は平成19年8月3日に鹿児島県蒲生町を視察した。

委員会の意見

蒲生町における編集作業は概ね嬉野市と変わることはないが、原稿をペーパーベースで印刷会社に渡されている。

当市の原稿及び写真は全てデータベースで渡し、レイアウトも緻密に仕上げた状態で渡す関係上、コストダウンできているものと思われる。

一方、蒲生町の議会だよりの中に、過去1年以内の議会で質問や提言がその後どう取り組まれたか追跡レポートのページが作成されている。

また、市民が郷土について語るとい記事もあり、こうした紙面づくりは是非嬉野市の議会だよりにも取り入れていきたい。

嬉野市でも議会活動の内容を早く、しかも正確に住民に知らせることによって議会に対する関心を深めてもらう意味において、議会だよりの発行は不可欠であり、かつ楽しく読んでもらえる紙面づくりに努めなければならない。

そのためには編集労力の軽減など、改善に向けて検討する必要があることを痛切に感じた。

塩田中学校 耐震診断 危険

基準値を大きく下回る

去る8月18日、塩田中学校耐震診断の結果が発表されました。

全校舎3棟の内、特に普通校舎（4階建）の耐震強度が0・15（1階部分）と基準値0.7を大きく下回り非常に危険であることがわかりました。このため、児童生徒（42人）は9月の新学期から公民館・特別教室・管理棟に分散し授業が行なわれています。

現在、プレハブによる仮校舎「校庭内、3棟19教室」の建設準備が進められています。

学校問題 特別委員決まる

塩田中学校耐震診断結果今後の重要課題ととらえ、市議会は特別委員会を設置しました。

児童生徒が安心・安全な校舎のもとに、授業が受けられるよう今後の建設問題等含め、議論が進められていきます。

学校問題特別委員会

委員長	平野 昭義
副委員長	田中 政司
委員	田口 好秋
委員	副島 敏之
委員	山口 栄一
委員	荻塚 典子
委員	川原 等
委員	副島 孝裕
委員	秋月留美子

議長交際費

平成19年7月1日～9月30日現在

（単位：円）

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	0	0
御祝	2	20,000
会費	2	18,000
その他	6	9,061
計	10	47,061

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費
- ・その他の内訳
 - ※他自治体からの視察時への支出
（茶菓子代） 2団体来庁 1,061
 - ※他自治体への視察研修
（土産代） 4団体へ 8,000



▲仮住まいの教室

編・集・後・記

合併から1年10ヶ月、市民の実感はどうでしょうか。交付税の削減は市の財政を益々圧迫し、明るい展望も期待できません。

しかし、この厳しさにも耐え、開拓精神で乗り切らなければなりません。

ただ、今日の厳しい中にも明るいニュースがあります。

嬉野市は、「医療面から見た住みやすい街」全国で第3位にあります。

肥前風土記の中にも「名湯の里」として癒しの温泉が記してあります。

高齢化社会に夢と希望の里、嬉野温泉を「暮らし・癒しの場」として歓声が聞こえる街づくりに更に励みたいものです。

議会広報編集委員会

委員長	園田 浩之
副委員長	平野 昭義
	太田 重喜
	川原 等
	副島 孝裕
	小田 寛之